

事前評価個表

事業名	森林居住環境整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	肱川森林計画区（ひじかわ） （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署												
事業の概要・目的	<p>肱川森林計画区は、愛媛県西部に所在する1,063haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に配慮しつつ集落周辺国有林の適切な森林整備等を行うことにより、山村地域の居住環境の改善及び都市と山村との交流等の促進にも資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>0 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>88 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	0 (ha)		保育面積	88 (ha)	路網整備	開設延長	0 (km)		改良延長	0 (km)
森林整備	更新面積	0 (ha)													
	保育面積	88 (ha)													
路網整備	開設延長	0 (km)													
	改良延長	0 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	14,624千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>158,442千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>72,166千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>7,818千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>29,160千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>267,586千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	158,442千円	山地保全便益	72,166千円	環境保全便益	7,818千円	木材生産便益	29,160千円	森林整備経費縮減等便益	0千円	計	267,586千円
	水源かん養便益	158,442千円													
山地保全便益	72,166千円														
環境保全便益	7,818千円														
木材生産便益	29,160千円														
森林整備経費縮減等便益	0千円														
計	267,586千円														
分析結果（B/C）	18.30														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林居住環境整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	安芸森林計画区（あき） （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 安芸森林管理署												
事業の概要・目的	<p>安芸森林計画区は、高知県東部に所在する29,035haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に配慮しつつ集落周辺国有林の適切な森林整備等を行うことにより、山村地域の居住環境の改善及び都市と山村との交流等の促進にも資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>139 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,257 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.4 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	139 (ha)		保育面積	1,257 (ha)	路網整備	開設延長	1.4 (km)		改良延長	0 (km)
森林整備	更新面積	139 (ha)													
	保育面積	1,257 (ha)													
路網整備	開設延長	1.4 (km)													
	改良延長	0 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	323,272千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>525,930千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>117,563千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>17,513千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>113,592千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>36,352千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>810,950千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	525,930千円	山地保全便益	117,563千円	環境保全便益	17,513千円	木材生産便益	113,592千円	森林整備経費縮減等便益	36,352千円	計	810,950千円
	水源かん養便益	525,930千円													
山地保全便益	117,563千円														
環境保全便益	17,513千円														
木材生産便益	113,592千円														
森林整備経費縮減等便益	36,352千円														
計	810,950千円														
分析結果（B/C）	2.51														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林居住環境整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	球磨川森林計画区（くまがわ） （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本南部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>球磨川森林計画区は、熊本県南部を中心に所在する37,071haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に配慮しつつ集落周辺国有林の適切な森林整備等を行うことにより、山村地域の居住環境の改善及び都市と山村との交流等の促進にも資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>34（ha）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>149（ha）</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.3（km）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>4.4（km）</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	34（ha）		保育面積	149（ha）	路網整備	開設延長	1.3（km）		改良延長	4.4（km）
森林整備	更新面積	34（ha）													
	保育面積	149（ha）													
路網整備	開設延長	1.3（km）													
	改良延長	4.4（km）													
費用対効果分析	総費用（C）	114,630千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>122,712千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>40,375千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>7,888千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>259,422千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>98,585千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>528,982千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	122,712千円	山地保全便益	40,375千円	環境保全便益	7,888千円	木材生産便益	259,422千円	森林整備経費縮減等便益	98,585千円	計	528,982千円
	水源かん養便益	122,712千円													
山地保全便益	40,375千円														
環境保全便益	7,888千円														
木材生産便益	259,422千円														
森林整備経費縮減等便益	98,585千円														
計	528,982千円														
分析結果（B/C）	4.61														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林居住環境整備事業（国有林）	事業計画期間	平成15年度～平成19年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	大隅森林計画区（おおすみ） （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 大隅森林管理署												
事業の概要・目的	<p>大隅森林計画区は、鹿児島県大隅半島を中心に所在する48,975haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に配慮しつつ集落周辺国有林の適切な森林整備等を行うことにより、山村地域の居住環境の改善及び都市と山村との交流等の促進にも資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>26 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>163 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.3 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	26 (ha)		保育面積	163 (ha)	路網整備	開設延長	1.0 (km)		改良延長	3.3 (km)
森林整備	更新面積	26 (ha)													
	保育面積	163 (ha)													
路網整備	開設延長	1.0 (km)													
	改良延長	3.3 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	90,035千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>134,502千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>35,330千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>5,371千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>265,275千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>153,507千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>593,985千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	134,502千円	山地保全便益	35,330千円	環境保全便益	5,371千円	木材生産便益	265,275千円	森林整備経費縮減等便益	153,507千円	計	593,985千円
	水源かん養便益	134,502千円													
山地保全便益	35,330千円														
環境保全便益	5,371千円														
木材生産便益	265,275千円														
森林整備経費縮減等便益	153,507千円														
計	593,985千円														
分析結果（B / C）	6.60														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														